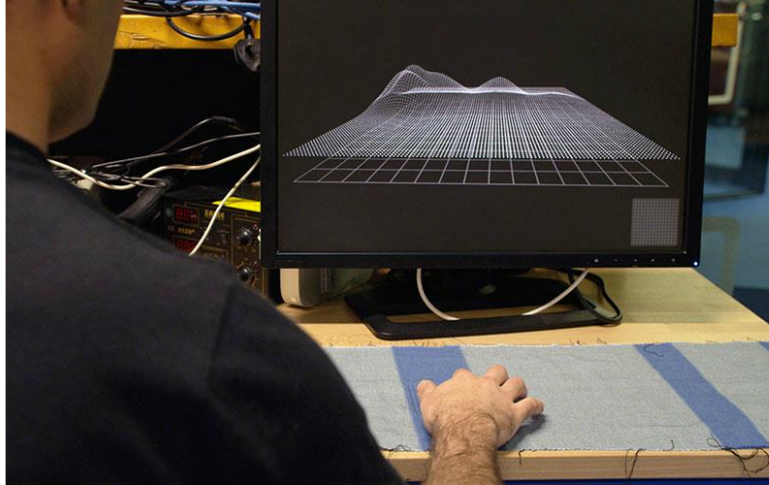




報道関係者各位

2015年6月1日
リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社

Google と共同で、次世代ジーンズ開発へ



リーバイス®は、Googleと共同で、ウェアラブル・テクノロジー開発プロジェクト「プロジェクト ジャカード」を発表し、来年までに次世代ジーンズを商品化することを発表しました。ファッションとテクノロジーの融合は、「ジャカード」とよばれる、Googleが開発したデジタル感知能力を有するマイクロファイバーテキスタイルをリーバイス®商品に使用し、実現いたします。私たちは近い将来、この次世代ジーンズで、スマートフォンなどの操作をすることが可能になるかもしれません。

世界を変える製品を提供すること。リーバイス®とGoogleの共通点です。

リーバイス®がゴールドラッシュ時代に作り出したブルージーンズはファッションに新しい流れを作り、Googleの検索技術は情報収集の手段を変えました。2社は今、協働して新たな課題解決に向かっていきます。リーバイス®が、「プロジェクト ジャカード」初のオフィシャルパートナーとなることが、年次開発者会議Google I/O 2015においてGoogleのAdvanced Technology and Projects (ATAP)グループによって発表されました。

GoogleのATAPグループを率いるIvan Poupyrev氏は下記のように述べています。

“プロジェクト ジャカードの最初のパートナーとして、リーバイス®を選んだのは、自然なことでした。リーバイス®は、サンフランシスコの湾岸エリアに深いルーツを持ち、開発力を持ったオーセンティックでファッションブルなブランドで、リーバイス®と組むことによって、アパレルに関する深い知識と価値観、新たな顧客層を取り込むことができます。”

リーバイス®の革新的なストーリーは142年前に初めて作られたブルージーンズから始まりました。

1934年に生まれた世界初の女性用ジーンズから、現在もユレカ・イノベーション・ラボで続く開発研究まで、リーバイス®はより快適なライフスタイルを提供し続けています。例えば、ジーンズのリベットがむき出しで、家具やサドルが傷ついてしまうことに不満をもっていた人々の要望に応え、1937年にバックポケットにリベットが隠されたジーンズを発表しました。1940年代、リーバイス®の新規顧客だったアメリカ東海岸の人たちが、伝統的なボタンフライのジーンズに馴染みがなかったので、ジッパーフライバージョン(501®Z)を発表。1960年代には、現在のストレッチジーンズの前身となるナイロン素材を取り入れたパンツを発表し、その後は現在のスキニージーンズの前身となる606 スーパースリムを発表しました。

リーバイス® Head of Global Product Innovation、Paul Dillinger は下記のように述べています。

“リーバイス®は、現在の生活にあった革新的な商品を提供し続けていながらも、ずっとアイコン商品に忠実であり続けてきました。今日、私たちが生きているハイパー・デジタルの世界では、常に、自分の生活圏のデジタル接続を維持することに苦労していますが、Google と共同で進めているプロジェクト ジャカードは、エモーショナルで、野心的で、機能的なアパレルを通して、消費者に全く新しい価値を提供します。”

Movie: <https://www.youtube.com/watch?v=qObSffdf7I&feature=youtu.be>